

# 岡本瓦版

発行所  
岡本夢プラン委員会  
事務局  
蒲生町岡本905  
岡田文伸  
tel 0748-55-0419  
e-mail f-okada905@ex.biwa.ne.jp

## 夢プラン事業

### 七〇%完了!!



平成十四度より進められてきた岡本夢プラン事業、4つの委員会で積極的に事業が進められ、全体としては標記の進捗となっている。詳細は左記のとおり。

- 一、生活改善委員会
  - 山の神等の改善
  - 葬祭等の改善
  - 公民館使用規定
  - 残事業 改善事項のマニュアル化
- 一、歴史研究委員会
  - 石柱設置
  - 看板制作
  - 歴史探訪
  - 残事業 看板の設置
  - 歴史探訪
- 一、環境整備委員会
  - 生ゴミ堆肥化
  - 可燃ゴミの再資源化
  - 残事業 生ゴミ堆肥の有効利用、山モミジの植樹
- 一、堀井家整備委員会
  - 旧堀井家整備支援
  - ガリ版啓蒙

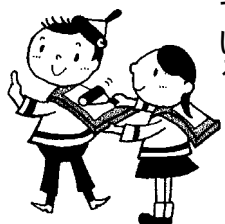
- (左上よりつづく)
- 残事業 仮称ガリ版芸術村用地公有化支援
  - ガリ版芸術村整備計画
  - 一、全体
    - ホームページ開設
    - メールサービス
    - 残事業 夢プランモニタリング設置

生活改善委員会では、長年懸案となっていた問題を住民の理解を得ながら改革できたことは、非常に有意義なことであった。今後、様々な事項が遵守されることとが期待される。そのため、定期的な見直しが必要である。

歴史研究委員会では、積極的な探訪イベントへの住民参加により歴史研究と石柱設置などの啓蒙普及活動により、岡本の歴史文化を内外にPRすることができた。さらに、PR活動が展開されることが期待される。環境整備委員会では、斬新なアイデアと住民の熱心な協力により、ゴミ減量

運動が爆発的に進み、蒲生町内外から注目されるようになった。今後、さらなる再資源化の実施と堆肥の有効活用等、循環型社会のモデル地区としての成長が期待される。

堀井家整備委員会では、十六年度から堀井家母屋の整備と(仮称)ガリ版芸術村の用地公有化支援を行ってきた。今後、母屋の整備に合わせた利用計画と全体的な長期計画の樹立が計画されている。



ガリ版芸術村マスコット

## 昨年度の活動経過

生活改善委員会の連日連夜の山の神の改善検討を實施しながら、歴史研究委員会主催による土山宿から徒歩にての御代参街道歴史探訪で、平成十六年度の夢プラン事業が開始された。昨年度の事業内容の詳細は以下のとおり。



## 岡本宿石柱、歴史看板の設置ほぼ完了!!

歴史研究倶楽部が進めている屋号石柱ならびに過去の公共施設の石柱の設置がほぼ完成した。総数で屋号石柱十五基公共石柱九基合わせて二十四基の石柱が二年間で設置された。おかげで、街道マニア歴史マニアそして、子供達の歴史勉強などで、岡本宿を通過する人に足を止めてもらえるようになってきた。今後、さらに岡本の深い歴史に興味を持っていただくために、

本歴史文化遺産を説明する看板が完成し、この四月に設置された。これをきっかけに、区民の岡本への愛着と誇りが増し、区民同士の連帯感と区民ひとりひとりの手作りの歴史、文化を感じさせる町並みになることが期待される。



平成十四年の十一月より開始しました「わがまち夢プラン策定事業」について、二年半にわたりまして、住民のみなさんのこころ温かい協力により、様々な活動が効果的に実施できました。まだまだ私の力不足で住民の全ての方に満足頂けるものとはなっていないことを申し訳なく思っております。

来年度で、蒲生町の夢プラン事業への経済的な支援は終わります。しかし、岡本の夢プランは続きます。本当の夢プランは区民の老若男女、家族のようなつき合いがいつまでも続けられるような集落にしたいと思っています。そのためにも、いつもみんなが集まって交

流でき、そこで、物を創ったり、見たり、食べたりできる施設を造って、大人と子供がいるいるなことを話しながら、交流できる場を作りたと思います。そのような意味で多くのアイデアを求めています。

記事の投稿とお手伝いお待ちしております

岡本のみなさまの投稿をお待ちいたしております。また、今後、倶楽部活動の中で、撮影、パソコン、ホームページ作成、繊細で手間のいる岡本ならではの芸等々お手伝いいただける方やいろいろなお手紙をもちの方募集しています。どうかご協力下さい。

- 平成十六年
- 四月一日、山の神行事改善検討開始
  - 四月の検討
  - 六月六日総集會発表
  - 四月十二日、岡本宿提灯点灯
  - 四月十日、徳島県上勝町ゴミ研修
  - 四月二十五日、御代参街道徒歩研修
  - 土山宿より岡本まで二十一K参加者五十名
  - 六月一日、堀井家整備計画会議
  - 蒲生野考現倶楽部、堀井家整備計画参加
  - 六月八日、第一回ゴミ研修
  - 六月二十日、役場企画課長ゴミの現状
  - 六月二十日、湖北バス遠足
  - 賤ヶ岳、木之本宿(木之本)渡岸寺観音堂(高月)お市の館(浅井)福田寺(近江)
  - 七月六日、美山町(京都)講演会にて岡本夢プラン説明
  - 七月三十日、第二回ゴミ研修
  - 八月十四日、読売新聞ガリ版取材
  - 八月二十日、第三回ゴミ研修
  - 八月二十五日、堀井家母屋修復開始
  - 八月二十九日、総集會にて中間報告
  - 九月十九日、金沢職人大学校来訪
  - 高木神社灯ろう、梵釈寺宝篋印塔見学
  - 十月十五日、東京「ガリ版展」見学
  - 十月十七日、中山道徒歩研修 五個荘(多賀大社) 十六K
  - 参加者三十名
  - 十月二十九日、NHK大津、堀井家取材
  - 十月三十日、第四回ゴミ研修
  - 十月三十一日、岡本古道整備
  - 十一月二十日、蒲生町MAXクラブ
  - 十一月二十一日、岡本歴史調査
  - 十一月二十一日、岡本古道歩き
  - 十一月二十六日、環境シンポジウム「あかね」
  - 十二月十四日、東近江地域区長会長会議
  - 岡本夢プラン説明会
  - 十二月十五日、町長あて堀井家公有化要望
  - 平成十七年
  - 一月二十二日、第五回ゴミ研修
  - 二月十七日、NHK堀井家取材五月放送
  - 三月二十日、環境研修(桑名市)
  - 三月二十一日、堀井家用地公有化支援決定

# 岡本瓦版

## 旧堀井本家母屋修復完了

平成十五年の秋より整備要望をお願いしていた旧堀井家整備。先ず、母屋の修復が平成十六年の夏より進められ、この三月でほぼ完了し、四月から土蔵の修復が進められている。今後、仮称「ガリ版芸術村」創造に向けて、周辺用地の公有化、具体的な整備計画の樹立。様々な構想を行政、NPO蒲生野考現倶楽部、岡本区が議論しあつて進めていく。現在のところ、要望している構想はつぎのとおりである。

芸術家の集う拠点  
堀井家の歴史文化遺産の整理と歴史館の新設公開  
管理棟では居住できる環境であること  
新設の建築物はできる限り古材を使用  
ガリ版の有効な伝承のため、現在の運営を見直す  
ほんもの体験工房の新設  
複写ステーション

以上のようなことを実現させるためには、幅広い分野の多くの方々の協力が必要である。特に、近隣で活躍されている芸術家との交流が欠かせないことから、様



## 環境ビデオ完成

滋賀県のエコライフ推進課発行による環境ビデオがこのほど完成した。「未来へのキックオフ」環境学習を行動につなげよう」というタイトルで学習編二十三分、発展編二十五分のビデオで、発展編の最初にわが岡本の生ゴミ堆肥化事業が取り上げられた。「おはよ

発行所  
岡本夢プラン委員会事務局  
蒲生町岡本905 岡田文伸  
tel 0748-55-0419  
e-mail f-okada905@ex.biwa.ne.jp

う朝日」でおなじみの気象予報士正木明さんの案内で繰り広げられる岡本の取組み。岡田安博さん一家の家族揃つての環境への取組みが好印象。岡本集落住民みんなで実施している活動が高く評価された。平成十七年度から各学校、行政に配布される。



正木明さんの撮影風景

## 伊勢参詣への旅立ち好発信!!

四月二十九日、初夏を思わせる天候のもと第四回目の歴史遠足が総勢三十三名の参加のもと実施された。昨年春の土山宿伝馬館から岡本宿。秋の五個荘小幡から多賀大社参詣に続くもので、この日は土山宿伝馬館から関宿を目指して出発した。午前九時に先ず田村神社へ参詣(もともと田村神社は鈴鹿峠の頂上に祀られていた)。ここから緩やかに登りの道を五キロ程度歩



ちょっと一服。

くと鈴鹿峠。金比羅さんへの安全祈願を願つて行者講により建てられた「万人燈」で記念撮影。ここから森林浴を楽しみながら一気に下り坂。坂下宿では馬子歌会館で館長さんから詳細な歴史の説明を受けたあと昼食。手作りの弁当と持参のビールで喉を潤い疲れを癒した。館長さんに見送られて午後一時半出発。途中、狩野元信が、あまりの風光の美しさに、力及ばず筆を投じたという筆捨山を眺めて、二時四十分関宿西の追分到着



関宿

## 注目のヨモギ発酵菌

口には、伊勢の式年遷宮の時の古い鳥居がここにあり、伊勢神宮参道の入り口というところで、ここから十五里六十キロが伊勢神宮の参道ということである。今秋にはここから、伊勢を目指して歩く計画がされている。

NPO琵琶湖自然浄化プロジェクトの協力により、三月よりヨモギ発酵菌液を培養している。EMボカシ処理に代わる処理方法で、特徴は好気性菌と嫌気性菌が同居しているため堆肥化速度が速いことと臭気が良好であることから、台所に生ゴミバケツを置いてても大丈夫。使用方法は従来のEMバケツ処理の方法と同じ。下に溜まつた発酵液も同様にプランターや排水管などに利用できる。さらに、事務局の家庭では化粧水として、また健全な大腸を維持するためにオリゴ糖を混ぜて飲用としても使っている。EMバケツ以外で生ゴミ処理をされている方も、三角コーナーやバケツに入っただけで悪臭がなくなる。是非、岡田まで問い合わせを

## 善玉菌で満たされた生活を...

化学肥料の無い時代は、自然界にある様々な物を肥料として、食物を生産していた。そして、農薬もなく、多くの微生物と善玉菌で人間の周りが満たされていた。そして、有機肥料の循環の

おかげで、多くの有機物とミネラルを多く含む食料を摂取できた。しかし、今は化学肥料と農薬の食料と除菌剤を多用する生活のために、身体に必要な善玉菌の種類も量も激減した。そんなことから、身体の免疫力の低下を招き、ウイルス等の悪玉菌に弱い身体を作ってしまった。昔の丈夫な身体を取り戻すためには、ミネラル豊富な野菜と善玉菌の摂取が必要である。さあ始めよう

## 岡本の膳写版1号機 NHKで全国放送

NHKの新番組で毎週火曜日二十三時十五分から放送している「発見・ふるさと」の宝」にて、五月三日ガリ版伝承館に保管されている膳写版1号機がふるさとの宝として登場した。二月五日に岡本に調査に入り、三月から様々な資料撮影、小学生の体験撮影とインタビューを七日間もかけて撮影した。(十五分の放映ですが余裕のNHK) 岡本区民にとっては名誉なことであるが、区民にとつての宝は膳写版1号機だけでなく、発明者堀井新治郎がこの地で赤貧あえぐ状況の中で膳写版を考案し、日本のみならず東アジア諸国に広めた近江商人としての魂と四十年代以上続いた名門堀井家の歴史を綴る貴重な資料と土蔵に眠る品々が宝ではないだろうか。今後の調査、整理と活用方法が大いに期待される。

貴重なご意見を頂きました

「ゴミ減量化に取り組み岡本を広くアピールする看板がキャッチフレーズはいかが?」ゴミステーションの問題を契機とした岡本地区の生ゴミ堆肥化事業が去年九月から半年が経過しました。先環境シンポジウムでは堆肥化したものを再利用できるシステムが構築されていなければ、中途半端な取り組みだと痛い評価を受けました。三月二十七日の朝日新聞ではサンフランシスコで生ゴミ堆肥をワイン用ブドウ畑や有機野菜農場で使用している旨が紹介されています。昔は、各家庭でできた灰を収集する業者があつたとか。生ゴミ堆肥化を広く進めていく、これを有効利用した有機栽培の農作物ができることは、健康への視点からも大切なこととす。匿名



回覧を補充するメール配信

現在、組別に回覧していますが、少しでも早く回したい所ですが、戸数の多い組もあり、なかなか回りません。これを補充する意味で大切な回覧はメールでも配信しています。どうか、ご家庭に一人以上登録頂くとありがたいです。勿論、今までの回覧も実施します。登録は左記宛にお名前を送信して下さい。

f-okada905@ex.biwa.ne.jp